

労働衛生部会

労働衛生管理活動分科会

会場名 名古屋市中小企業振興会館メインホール (29ページ交通案内⑩)

最寄駅 地下鉄桜通線「吹上駅」

名古屋市千種区吹上2-6-3

10月30日(木)のプログラム

9:30開始

1 有機ガス用吸収缶の破過に関する検討

労働福祉事業団茨城産業保健推進センター

産業保健相談員 木村 菊二

有機溶剤を用いた吹き付け塗装作業場において、有機ガス用吸収缶の使用に伴う質量増加を求め、破過あるいは残存能力を推定する方法について検討を行った。

9:55

2 作業環境リスクアセスメント指標の研究

(社)日本自動車工業会安全衛生専門会議委員

ヤマハ発動機株式会社人事務室安全衛生グループリーダー 山崎 俊二

作業環境や作業負荷など、作業者が労働衛生面から受けるリスクを総合的に評価するための指標・基準を検討し、その結果を評価シート等としてまとめたもの。

(10:20~10:30休憩) 10:30

パネルディスカッション

過重労働による健康障害防止対策

基調講演 東京大学名誉教授

和田 攻

講師 (株)メルコプレインズディレクター

兼三菱電機株式会社福祉安全衛生グループ専任

小野 道實

日本アイ・ビー・エム株式会社安全衛生産業保健部医師

金子多香子

帝塚山大学法政策学部教授

渡辺 賢

東京大学名誉教授

和田 攻

助言者 厚生労働省安全衛生部労働衛生課長

中林 圭一

司会 中災防労働衛生調査分析センター技術顧問

高田 勲

(12:10~13:10昼休み) 13:10

3 平成14年のオフィス環境改善活動

ワッカー・エヌエスシーイー(株)

企画管理チームチームリーダー 桜庭 雅明

昨年は、安全衛生環境活動の一環として消却ゴミ削減、快適職場計画実行等を全社的に進めた。結果、オフィス環境向上以外に環境負荷軽減等にも寄与した。

13:35

4 当支社の喫煙対策「分煙化への歩み」

西日本旅客鉄道株式会社

福知山健診センター保健師 佐々木博子

平成8年のガイドラインを機に、喫煙対策ゼロの現状に対して、職場巡視の指導等で、全箇所分煙化ルールを実施するに至った経過を報告する。

14:00

5 陽射しによる目の疲労軽減と安全性の確保

東海旅客鉄道(株)

東海鉄道事業本部大垣運輸区運転士 北川 国弘

私たち乗務員は、運転台に直接陽射しが射し込む環境であり、眼に対する影響が懸念される。そこで、目の疲労と運転事故防止の両面で研究を進めたものである。

14:25

(18)

労働衛生部会 労働衛生管理活動分科会

14 : 25

6 粉体塗装ブース作業環境改善事例について

松下エコシステムズ(株)春日井プロダクツ社
製造G生産技術Tマネージャー

下野 秋夫

粉体塗装ブースの局所排気装置をプッシュプル型換気方式に更新し一様流形成により、作業者の呼吸位置のよどみを排除し、作業改善となった事例。

14 : 50

7 全豊田“労働衛生職場診断”構築への取り組み

愛知製鋼(株)
安全衛生環境部安全衛生室

村瀬 裕之

全豊田労働衛生部会において、管理監督者による労働衛生管理の実施状況を、マネジメントの切り口から診断する仕組みを構築したので紹介する。

15 : 15

8 環境と健康を考慮した当社の社屋改修工事

大阪施設工業(株)
土木部建築課長

辻本 嘉伸

社員の健康を考慮した職場環境づくりを前提に、社屋の大改修を行った。その中で、屋内で使用したエコ製品、屋外で施した建物緑化について発表する。

(15 : 40～15 : 50休憩) 15 : 50

シンポジウム

衛生管理にリスクアセスメントをどう役立てるか

～OSHMS時代における衛生管理の役割とは～ (仮題)

講 師 日本ビクター(株)人事総務部安全健康管理センター長 井上 温
三菱化学(株)事務部人事グループ健康管理マネージャー 武田 繁夫
住友金属工業(株)和歌山製鉄所総務部安全健康室参事 生田善太郎
司 会 中防災技術支援部長 荒川 輝雄

17 : 00終了

*引き続き、中小企業振興会館展望ホールにおいて「第18回全国衛生管理者情報交流会」を行います。お申し込みは34ページをご覧ください。

10月31日(金)のプログラム

9 : 30開始

9 わが社におけるVDT作業環境の改善事例

ブラザー工業(株)瑞穂工場
I&Dカンパニー開発部主任研究員

武藤 清

VDT作業に対しての職場の作業環境の測定結果および従業員からの要望等とともに、精神的な面等にも考慮した作業環境の改善事例を報告する。

9 : 55

10 健診機関における一般健診結果の比較検討

(助産業保健協会事務局長

鈴木 忠能

大田区を中心に職域の健診を実施している。対象はおもに中小企業で多業種にわたる。この結果を業種、規模ならびに男女別に比較検討したので報告する。

10 : 20

11 部下の笑顔を思い進めた安全な職場環境づくり

日産自動車(株)横浜工場
第一製造部第三機械課

宮崎 裕司

監督者に任命され、部下との対話活動を重点に進めた結果、環境面の重筋・姿勢で苦勞していることがわかり、この対策を実施したことで安全意識も向上した。

10 : 45

(19)

労働衛生部会 労働衛生管理活動分科会

10:45

12 検修職場における3K作業の改善

東海旅客鉄道(株)
東海鉄道事業本部美濃太田車両区車両係 江崎 拓哉

(11:10~11:15休憩) 11:15

3K作業であるエアフィルター気吹き作業について、人体への影響調査、対策および検証を行い、自動フィルター清掃装置を考案、作業環境の改善を図った。

13 エルゴノミクスを活用した職場づくり

トヨタ自動車(株)
安全衛生推進部安全衛生室 中西 弘毅

11:40

労働集約型である自動車生産において、人をキーワードにしたエルゴ活動を通して、活力ある職場づくり・人づくりを実践してきたので紹介する。

特別報告 OSHMS時代の健康診断の進め方—腰痛健診を例にして—

中災防労働衛生調査分析センター副所長 市川 正明

(12:00~13:00昼休み) 13:00

講演 睡眠時無呼吸症候群にどう対応するか

虎の門病院呼吸器科医師 成井 浩司

14:10

14 産業医共同選任事業における現状と課題

労働福祉事業団大阪産業保健推進センター
相談員 圓藤 吟史

(14:35~14:45休憩) 14:45

小規模事業場での産業保健活動の実態を調査、さらに推し進める上での課題を明らかにし、働く人々がより健康で快適な職業生活を送れることを目指す。

シンポジウム 粉じん障害の防止に向けて

講師 前田建設工業(株)安全環境品質本部
安全環境部安全労務グループ副部長
早稲田大学教授
産業医科大学教授

助言者 厚生労働省安全衛生部労働衛生課主任中央労働衛生専門官
司会 (独)産業医学総合研究所客員研究員

北嶋 正義
名古屋俊士
堀江 正知
高橋 祐輔
本間 克典

16:25終了

あの歌は人生の「援歌」！この歌は心の傷を癒す！

中災防新書 ^{うた}流行歌とシンドローム—メンタルヘルスへの誘い—

●夏目 誠著 ●新書判 216ページ ●定価：本体900円＋税

お申込み・お問合わせは…中央労働災害防止協会 普及事業部業務管理課まで ホームページアドレス
TEL03-3452-6401 FAX03-3452-2480 <http://www.jisha.or.jp/>

労働衛生部会 健康づくり分科会

会場名 名古屋市民会館大ホール（29ページ交通案内①）名古屋市中区金山1-5-1
最寄駅 JR中央本線・東海道本線「金山駅」、地下鉄名城線「金山駅」

10月30日(木)のプログラム（この日のみの開催）

コメンテーター

大阪ガス(株)健康開発センター統括産業医 岡田 邦夫

9:30開始

1 企業の新たなヘルスケアシステムの構築

NTN(株)

人事部労政・安全グループ主事 田中 茂

9:55

本発表は、企業と健康保険組合の連携を強化したヘルスケアシステムの構築により、効率的かつ効果的な従業員の健康保持増進活動を見出すものである。

2 参加型糖尿病予防教室の試み

東海旅客鉄道(株)JR東海総合病院

静岡鉄道健診センター保健師 西ヶ谷江里

10:20

従来の一方的な講義を改め、社員が糖尿病を防ぐ知識や生活習慣改善の方法を主体的に学ぶ教室を試みた結果、血糖値の改善に効果があった。

3 オーバーボールを使用した腰痛予防教室

大同特殊鋼(株)星崎工場

星崎診療所所長 齊藤 政彦

10:45

オーバーボールを用いて腰痛予防教室を3か月間開催した。参加者の腰痛の状態は教室受講後に改善し、ボールの使用は全員が「良かった」と答えた。

4 栄養指導時の食行動目標の設定と実践状況

中部電力(株)本店

人事部安全衛生グループ健康管理室 青木由香里

11:10

16項目の食行動目標のうち、実践しやすいものを探るため、指導後の食行動目標の実践度と指導内容の達成率を調査したので、その結果と考察を報告する。

5 若年社員の肥満対策について

～若年社員のライフスタイルからみた肥満予防・肥満改善法～

東日本旅客鉄道(株)

中央保健管理所保健師 甲斐 里美

11:35

当社社員25歳に対する食事・運動・休養のプログラムを希望者に実施した。Eメールを用いた新たな健康支援方法を試み、評価した。

6 当社の食習慣改善活動の取り組みについて

トヨタ自動車(株)

安全衛生推進部健康推進室 嶋崎 大地

(12:00～13:00昼休み) 13:00

健康保持・増進活動における良好な食習慣への意識向上、実践定着を図るための環境づくり、情報提供、個人の食事状況がわかるOAシステムについて紹介。

コメンテーター

トヨタ自動車(株)統括産業医 岩田 全充

13:00

7 健康教育実践による生活習慣改善の動機づけ

大分健康管理協会大分総合健診センター

健診部保健師 吉川 素子

13:25

健診結果に基づき健康教育を実施。検査数値が基準値以上で、自覚症状がない状態であるにもかかわらず生活習慣病に関係することを対象者自身が意識した。

労働衛生部会 健康づくり分科会

13 : 25

8 健康測定を導入実施とその評価—個別指導を目指して—

（財）電力中央研究所我孫子研究所
事務部看護師 浅井 宮子

個々の生活態様や運動能力に見合った健康指導を目指し、健康測定を実施してきたが、受診者の健康状態の改善、体力の向上がみられたので、概要を報告する。

13 : 50

9 「日鐵マン改造計画」生活習慣改善サポート

新日本製鐵(株)
人事・労政部安全健康グループ保健師 原田志帆子

減量希望者に、行動療法を用いた生活習慣改善サポートを行った。さらに、社内ホームページを活用し、全社員の健康意識の向上も試みたので報告する。

14 : 15

10 新入社員の一日健康管理研修

東日本旅客鉄道(株)仙台支社
JR仙台病院看護師長 鈴木はるみ

新入社員は大部分が寮生活で、深夜業となる。そこで、食事等の生活習慣を見直し、生活改善を目的とした一日研修を企画し、効果を上げた。

14 : 40

11 心とからだの健康づくり

ソニーイーエムシーエス(株)幸田テック
人事総務部安全環境課 川本美奈子

いかに社員一人ひとりが「心とからだの健康づくり」に関心を持ち、取り組むことができるかをテーマに、さまざまな活動を実施している。その事例を紹介する。

(15 : 05~15 : 15) 15 : 15

THP15周年記念シンポジウム

これからの企業における健康づくりを考える

講 師	大阪ガス(株)健康開発センター統括産業医 トヨタ自動車(株)安全衛生推進部長 産業医科大学産業医実務研修センター所長	岡田 邦夫 加藤 隆康 森 晃爾
司 会	富士ゼロックス(株)全社産業医	河野 慶三

17 : 00

*引き続き、名古屋市民会館内レストラン「メロディ」において「第15回働く人の健康づくり全国交流会」を行います。
お申し込みは34ページをご覧ください。

180枚のイラストで「痛み解消法」が一目瞭然

中災防新書 自分でできる“痛み”のリハビリ

●関東労災病院 勤労者リハビリテーションセンター編 ●新書判 230ページ ●定価：本体900円＋税

お申込み・お問合わせは…中央労働災害防止協会 普及事業部業務管理課まで ホームページアドレス
TEL03-3452-6401 FAX03-3452-2480 <http://www.jisha.or.jp/>

労働衛生部会 メンタルヘルス分科会

会場名 名古屋市民会館大ホール（29ページ交通案内①）名古屋市中区金山1-5-1
最寄駅 JR中央本線・東海道本線「金山駅」、地下鉄名城線「金山駅」

10月31日(金)のプログラム（この日のみの開催）

10：00開始

特別報告 メンタルヘルス指針の普及・定着活動について

中災防メンタルヘルス推進センター推進支援課長 三觜 明

コメンテーター

ソニー㈱健康開発センター臨床心理士 森崎美奈子
10：35

1 メンタルヘルスケア対策

小田急電鉄㈱小田急健康管理センター
(メインメンタルヘルス研究所)メンタルヘルス担当 山崎 友丈

小田急電鉄㈱のメンタルヘルスケア対策は、研修会やカウンセリング等からなり、98年度から実施している。実施後、メンタル関連の休業の減少が認められた。

11：00

2 メンタルヘルス活動とEAP導入について

㈱INAX安全防災推進室
東京健康管理室保健師 森重 美奈子

当社におけるメンタルヘルス活動は、社会および社内の変化とともに歩んできた道ともいえるが、その経緯と新たに取り組んでいるEAPについてまとめた。

11：25

3 MHP21におけるメンタルヘルス対策

三菱電機㈱相模事業所
総務課安全衛生担当課長 大森 義文

健康日本21の取組みとして実施している三菱電機グループヘルスプラン21について、メンタルヘルス対策とその効果を中心に事例で紹介する。

(11：50～13：00昼休み) 13：00

コメンテーター

労働福祉事業団中部労災病院勤労者メンタルヘルスセンター長 芦原 睦
13：00

4 うつ状態を改善するために大切な配偶者協力

労働福祉事業団兵庫産業保健推進センター
産業保健相談員メンタルヘルス担当 松川 善弥

うつ状態改善の基本は、本人が疲労状態あるいは病気になることに気づくこと、同僚や家族のうつ状態についての理解すること、そして配偶者が理解して協力すること。

13：25

5 管理者へのメンタルヘルスケア研修を行って

前橋郵政健康管理センター看護師主任・保健師 大塚 美詠

国営から公社へと郵政事業変革の中、職員の問題が急増している。そこで、管理者に対してメンタルヘルスケア研修を実施し、問題意識の啓発を行った。

(13：50～14：00休憩) 14：00

講演 メンタルヘルスケアの実践 —いつも同じ失敗を繰り返してしまう人たち—

労働福祉事業団中部労災病院勤労者メンタルヘルスセンター長 芦原 睦

15：00終了

労働衛生部会 化学物質管理分科会

会場名 中電ホール（28ページ交通案内⑤）名古屋市東区東新町1番地

最寄駅 地下鉄東山線「栄駅」、地下鉄桜通線「高岳駅」

10月30日(木)のプログラム（この日のみの開催）

9：30開始

1 化学物質管理システムおよびWeb版MSDS検索システムの開発・運用
核燃料サイクル開発機構
安全推進本部安全計画課主務 川村 将

化学物質の取扱いに関する法令等に対応できるシステム、および従業員の誰もが利用する化学物質のMSDSを、Web上で閲覧できるシステムを開発した。

2 エチレンオキシド用の吸収缶の開発
（株）重松製作所技術研究所第1研究部主任部員 蔵野 理一

エチレンオキシドに対する有機ガス用吸収缶の破過時間は短く、短時間しか使用できない。これを改善したエチレンオキシド専用の吸収缶についての報告。

3 小規模事業場におけるMSDSの利用状況と活用方法
労働福祉事業団神奈川産業保健推進センター所長 石渡 弘一

50人未満の小規模事業場における化学物質管理状況等についてアンケートを実施し、作業者に理解しやすいトルエンのMSDSを作成した。

4 リスクに対応した体系的な化学物質管理
エクソンモービル(株)医療産業衛生部
インダストリアルハイジーンリーダー 橋本 晴男

MSDSによる篩い分け、定性暴露評価、定量評価（暴露測定）の3つをコア手順とする網羅的かつ集中的なリスク評価と管理体制を、運用状況を含めて紹介。

（11：10～11：20休憩）11：20

特別報告 化学物質の管理の現状

中災防技術支援部化学物質管理支援センター

管理支援課長 青柳 幹治

（11：50～13：00昼休み）13：00

講演 GHS国連勧告の概要

日本大学大学院教授 城内 博

（14：00～14：10休憩）14：10

シンポジウム 化学物質管理へのMSDSの活用

講師 石田労働安全衛生コンサルタント事務所所長 石田 修
三井化学(株)生産・技術部門 環境安全・品質企画管理部部長補佐 近藤 元好
エスティ・エルシーデイ(株)安全衛生環境部長 永坂 英文
（財）九州ヒューマンメディア創造センター専任主席研究員兼産業医 八幡 勝也
産業医科大学産業生態科学研究所講師 柳川 行雄

司会 中災防技術支援部化学物質管理支援センター所長

（15：40～15：50休憩）15：50

講演 一流スポーツ選手に学ぶ体の操作法

中京大学体育学部教授 湯浅 景元

16：50終了